

ビジネスリーダーのためのイメージアップ講座

第1回



センスの良し悪しはネクタイ選びで決まる!?

「部下からの目線」の第1回目は「ネクタイ」について。ビジネスにおける装いは、いつの時代もスーツとネクタイが基本ですが、その姿にはいつも多くの視線が注がれています。第一印象を左右するのは、「視覚」から得る情報が約8割。今は、「中身も、そして見た目もいい」企業リーダーが求められる時代になりつつあります。



シルク特有の上質な 光沢感で高級さを

「紺色のネクタイさえしていれば、どんなシーンでも安心」、なんて思っていますか？ 確かにビジネス用のネクタイの基本柄は、水玉、小紋、ストライプ、無地などで、青系は「誠実さ」、黄色系は「親しみやすさ」、赤系は「パワフルさ」を出す色といわれます。しかし、安心だからと紺色のネクタイばかりをしていると、パターン化しすぎてしまい、あまりにも個性がありません。とはいえ、逆に派手であれば個性的だと思ってしまうと、装いのなかで、ネクタイだけが変に目立ってしまいます。本来であれば、それぞれの方の肌色、髪、瞳の色や雰囲気合った顔映りのいいものを、第三者の目も通して選ぶのが一番です。一般的にご自身で選ぶポイントとなると、重要なのはシルク特有の上質な光沢感があるネクタイを選ぶこと。それが高級感の演出につながり、リーダーにふさわしい装いをつくり出します。

ここでいう「リーダーにふさわしい装い」とは、流行物、ブランド物を取り入れるということではもちろんありません。重要なのは「きちっと感」と「清潔感」の2つが感じられる装いであり、それにその方の個性が加わるのが理想です。

ビジネスにおける男性の基本スタイルは、スーツとなっています。長い歴史のなかで、基本的なスタイルに大きな変化のないスーツの見せ場は、スーツの襟、シャツ、ネクタイでつくるVゾーン。ここで存在感をみせるのが「ネクタイ」であり、人から見られているのもこの「ネクタイ」なのです。



必要なのは 基本をおさえた遊び心

センスの良し悪しを言うときに、その判断基準の中心となっているネクタイです。基本をおさえて、それにちょっとした遊び心を入れると、ワンランク上の評価につながることもあります。

ある方のネクタイは、金色がかった小紋柄。しかし、よく見るとその

小紋柄が犬だったり、象だったり。その可愛らしさが女性の間で好評だったこともありました。

最近ではピンクのネクタイを店頭でよく見かけますが、実際は50代以上の方は敬遠しがちな色みです。しかし、いつもはオーソドックスなネクタイをしている方が、春を意識してピンク系のネクタイをしていました。ここで取り入れたのは、桜色のような落ち着いた色みでも上品に見え、顔色もよく見えたという声も聞こえてきました。

こうした好意的な声がある反面、いつもぼやけた柄、くすんだ色みのネクタイをしていると、落ち着きすぎて冴えない印象を与えてしまいます。全体がくすんだ色のもはさけ、ストライプの1本のラインでも、小紋の小さな柄にでもいいので、ちょっと色みを入れることを意識するだけで、さりげない華やかさが演出できます。

締めているネクタイひとつで、まわりの話題はこんなにも広がっています。明日からのネクタイ選びは、いつもよりちょっと時間をかけてもいいかもしれませんね。



TRY! TRY! TRY!

- ネクタイの本数と傾向を把握**
 ご自分のネクタイが何本あるか、答えられますか？ 数はあってもいつも同じもので回してしまう、という声も多いので、今一度、どんなネクタイが何本あるのか把握しましょう。
- ニュース番組のアナウンサーを参考に**
 ファッション雑誌を見なくても、テレビの朝のニュースのアナウンサーの装いは、きちんと感と清潔感を両立させた好感度の高い装いといえますので、ぜひ、参考にしましょう。
- 第三者からの意見を聞く**
 毎日のネクタイ選びをご自身でやっているならば、ご家族をはじめとした第三者の声を聞くことはとても大切です。そうした声を受け入れて、レベルアップを図りましょう！

● 山川 みどり 国際イメージコンサルタント

国際イメージコンサルタント協会(AICI) ニューヨーク支部会員。ファッション専門誌、女性誌の編集者として、ファッション、心理学ページなどを担当。その後、大手製薬会社、化粧品会社の教育ツールの制作などに数多く携わる。06年、アメリカで国際イメージコンサルタントの国際ライセンスを取得し、プライムイメージを設立。
 プライムイメージ <http://www.primeimage.jp/>

